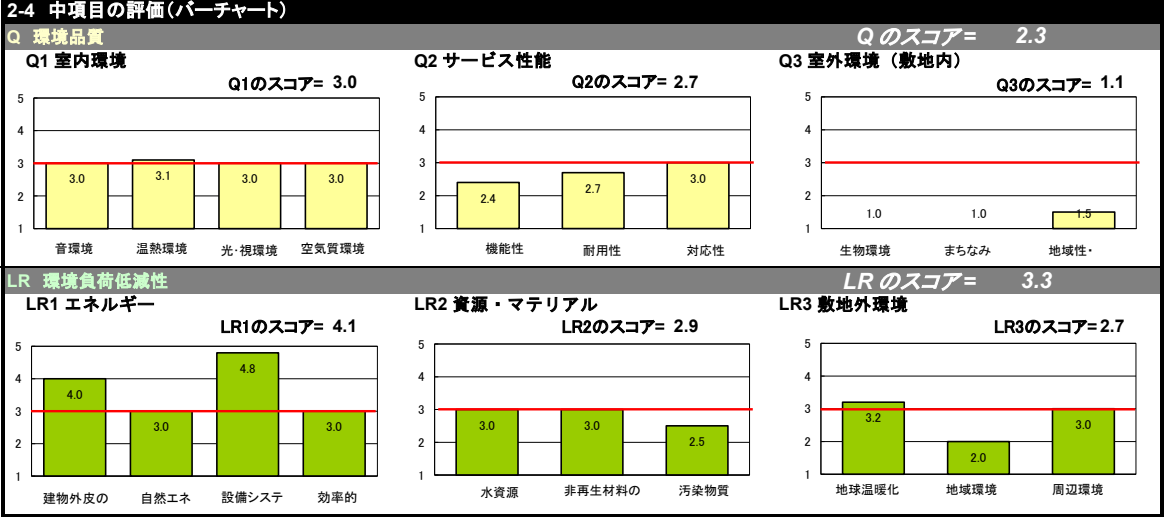
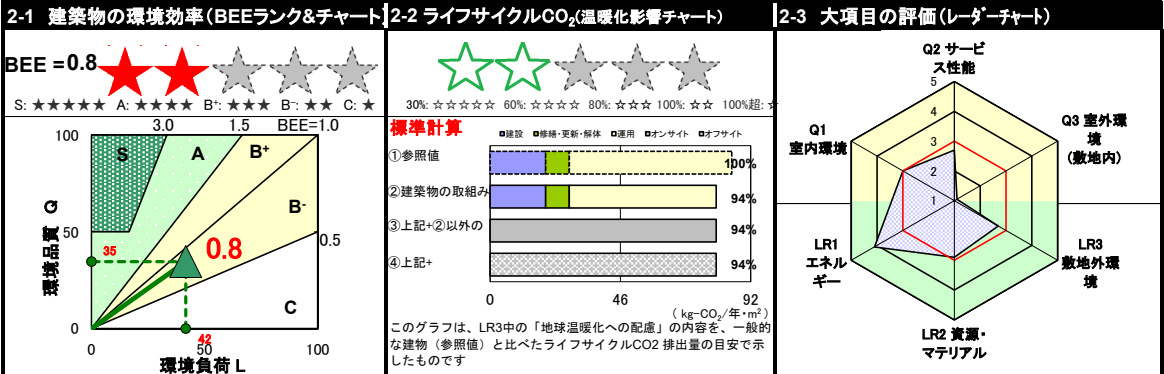


CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 6-063



■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版v.1.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新子安プロジェクト 新築工事	階数	地上11F
建設地	横浜市新子安二丁目219番、219番22、240番130の一部、240番24、240番25	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	76 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2024年10月15日
敷地面積	620 m ²	作成者	齋藤 源
建築面積	309 m ²	確認日	2024年10月15日
延床面積	2,422 m ²	確認者	齋藤 源



3 設計上の配慮事項		その他
総合 一般的な共同住宅。		全体的に、標準的な取り組みを行っている
Q1 室内環境 シックハウス対策として、クロルピホスを添加した建材を使用しない。 JIS、JAS規格による「F☆☆☆☆」表示のある建材を使用する。	Q2 サービス性能 住居の天井高を2.4m以上を設定。	Q3 室外環境 (敷地内) 良好な緑化計画としている。
LR1 エネルギー BEI=0.90以下となるように設計している	LR2 資源・マテリアル 標準的な取り組みを行っている	LR3 敷地外環境 標準的な取り組みを行っている

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)新子安プロジェクト 新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

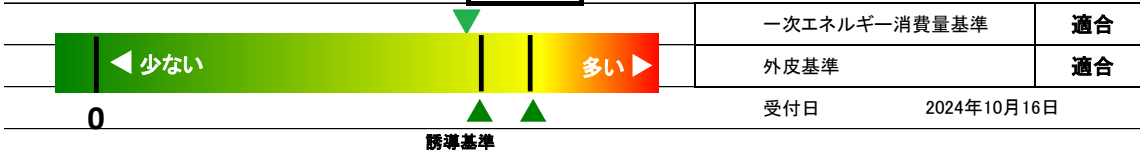
重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 14 %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

1

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級3 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質					-		-		3.0	
Q1 室内環境					0.40				3.0	
1 音環境				3.0	0.15	-	-		3.0	
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-		-	
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-		-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	-	-		-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	-	-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	-	-		-	
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-		-	
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-		3.0	
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		-	
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-		-	
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	-	-		-	
3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-		-	
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.20	-	-		-	
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-		-	
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-		3.0	
3.1 屋光利用				3.0	0.30	-	-		-	
1 屋光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.60	-	-		-	
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-		-	
3 屋光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	-	-		-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-		-	
1 屋光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	-	-		-	
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	-	-		-	
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	-	-		-	
4 空気質環境				3.0	0.25	-	-		3.0	
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-		-	
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	-	-		-	
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		-	
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-		-	
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-		-	
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-		-	
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-		-	
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	-	-		-	
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-		-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.0	
1 機能性				3.0	0.40	-	-		3.0	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		-	
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-		-	
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-		-	
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-		-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-		-	
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-		-	
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-		-	
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-		-	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		-	
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-	
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-		3.0	
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-		-	
1 耐震性		防 災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-		-	
2 免震・制振性能		防 災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-		-	
1 躯体材料の耐用年数		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-	
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-		-	
1 空調・換気設備		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
2 給排水・衛生設備		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
3 電気設備		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
4 機械・配管支持方法		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
5 通信・情報設備		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
3 対応性・更新性				3.0	0.30	-	-		3.0	
3.1 空間のゆとり				3.0	0.30	-	-		-	
1 階高のゆとり				3.0	0.60	-	-		-	
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40	-	-		-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-		-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-		-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-		-	



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)新子安プロジェクト 新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート			実施設計段階		重点項目					
配慮項目					建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
			<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
	6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	3.0	
1	生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0	
2	まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0	
3	地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		3.0	0.50	-	-		
3.2	敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	2.7	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	2.3	
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		2.0	0.20	-	-	2.0	
2	自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0	
3	設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		2.0	0.50	-	-	2.0	
4	効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-		
4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-		
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-		
	集合住宅の評価				-	-	-	-		
4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-		
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.0	
1	水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0	
1.1	節水				3.0	0.40	-	-		
1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-		
1	雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-		
2	非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0	
2.1	材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-		
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-		
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-		
2.5	持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	-		
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.20	-	-	3.2	
3.1	有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-		
3.2	フロン・ハロンの回避				3.3	0.70	-	-		
1	消火剤				3.0	0.33	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33	-	-		
3	冷媒				3.0	0.33	-	-		
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.0	
1	地球温暖化への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0	
2	地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0	
2.1	大気汚染防止				3.0	0.25	-	-		
2.2	温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-		
2.3	地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-		
2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-		
3	交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-		
3	周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0	
3.1	騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-		
1	騒音				3.0	0.33	-	-		
2	振動				3.0	0.33	-	-		
3	悪臭				3.0	0.33	-	-		
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-		
1	風害の抑制				3.0	0.70	-	-		
2	砂塵の抑制				3.0	-	-	-		
3	日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-		
3.3	光害の抑制				3.0	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-		

上記以外の重点項目						-	-	-	-	-
<事務用途>						-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組			快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
<住宅用途>						-	-	-	-	-
健康と安心						-	-	-	-	-
1	化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-	-
2	適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-	-
3	結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-	-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		1.0	-	-	-	-	-